

# 児童図書室だより No. 92 (2015. 7発行)

読んでみませんか 児童図書室がえらんだものがたり・ちしきの本

| 本の情報   | 内容  |
|--|---|
| <p><b>『えんぴつ太郎のぼうけん』</b></p> <p>佐藤 さとる 作<br/>岡本 順 絵<br/>鈴木出版 2015.3<br/>【小低】</p>  | <p>あるところに、とても書きやすいえんぴつがありました。男の子はすっかり気に入って、「えんぴつ太郎」と名前をつけました。ある日、使われて、みじかくなったえんぴつ太郎は、つくえの後ろのせまいすき間に、ころがりこんでしまいます。そこで出会ったのは不思議なトランプのジョーカー！ジョーカーの魔法で手足・目鼻口がついたえんぴつ太郎はつくえの下から明るいほうへ、出ていきました。さあ、ぼうけんの始まりです。</p> <p>(J913-サ-1111009671)</p>  |
| <p><b>『おさんぼぐるぐる』</b></p> <p>飯野 由希代 作<br/>小栗 麗加 絵<br/>文研出版 2015.1<br/>【小低】</p>  | <p>わたしのなまえはルナ。ミュキちゃんの家で飼われている犬よ。さいきん、ミュキちゃんは、わたしのおさんぼをさぼりがち。そんなところに、イヌヤマさんというおじさんがやってきたの。なんでも美少年型のおさんぼロボットを試してもらいたいんだって。やったね！おさんぼ連れてって～ロボットとのおさんぼってステキかも…ってもう終了時間？やだっ引っぱらないでよ！ぐるじい！ミュキちゃん、このロボット買わないで～</p> <p>(J913-ハン-1110984625)</p>  |
| <p><b>『だいじょうぶカバくん』</b></p> <p>ダニエル・ネスケンス 作 ルシアーノ・ロサノ 絵<br/>宇野 和美 訳<br/>講談社 2015.2<br/>【小中】</p>                           | <p>「おーい、ぼくをここから出してくれないか。」ふるさとのアフリカに行きたいと思った動物園のカバくんは、女の子に声をかけます。柵から出たカバくんは、アフリカまでの道を探します。途中、子どもたちと遊び、レストランで食事をして、でも結局アフリカまでの道はわからず、カバくんは動物園に戻ってきてしまいます。警備員さんは、すべてお見通しとばかりにカバくんを中に入れます。カバくんは思いました、だいじょうぶ、チャンスはいつかめぐってくる、と。</p> <p>(J963-ネス-1110996887)</p>                               |
| <p><b>『タイムストーリー』</b></p> <p>5分間の物語、1時間の物語、1日の物語、<br/>3日間の物語、1週間の物語(全5冊)</p> <p>日本児童文学者協会 編<br/>偕成社 2015.2-3<br/>【小高】</p> | <p>私立の女子校に通う中学生の「わたし」は、朝の電車でたった5分間一緒になる男の子が気になっている。名前は「リョウウ」。わたしの存在に、気づいているのかいないのか。夏休みを前に、わたしは友達と作戦を立てた、「リョウウ」に思いを伝えるため…。</p> <p>『5分間の物語—ひまわり』<br/>それぞれの「時間」にまつわる物語集です。</p> <p>(J913-コフ-1111021406, J913-イチ-1111021415, J913-イチ-1111021390, J913-ミツ-1111021424, J913-イツ-1111021380)</p> |
| <p><b>『リフカの旅』</b></p> <p>カレン・ヘス 作<br/>伊藤 比呂美, 西 更 訳<br/>理論社 2015.3<br/>【小高】</p>  | <p>1919年、12歳のユダヤ人の少女リフカは、家族とともに内戦のロシアから脱出し、アメリカを目指します。途中、病気のため1人足止めされてしまったリフカ。両親、兄弟に会いたいという強い思いから、病気を治し、アメリカ行きの船に乗り込みます。大きな嵐にも巻き込まれますが、ようやくアメリカのエリス島に上陸します。しかし、またしてもリフカの前に困難が立ちはだかります。</p> <p>アメリカ入国までの不安や夢を、主人公から従姉への手紙の形式で綴った物語です。</p> <p>(J933-ヘス-1111001332)</p>                    |
| <p><b>『ぼくはフクロウを飼っている』</b></p> <p>下田 智美 作<br/>偕成社 2015.2<br/>【幼児～小低】</p>  | <p>山でフクロウの羽を見つけたコウタ君。フクロウを飼いたいと両親にお願いしますが、まずはどんな鳥なのか調べてみるように言われます。コウタ君は毎日フクロウを調べて、そして「フクロウ・ノート」ができていきます。フクロウの住むかんきょう、からだの持ちょう、どんな種類がいるのか、どんな生活をしているのかなど、調べれば調べるほどフクロウが好きになっていきます。そして最後にわかったことは…？</p> <p>(J488-シモ-1110988455)</p>  |

| 本の情報   | 内容  |
|--|---|
| <p data-bbox="236 226 687 293">『おいしい“つぶつぶ”穀物の知恵<br/>ゲッチョ先生の穀物コレクション』</p> <p data-bbox="331 331 592 421">盛口 満 文・絵<br/>少年写真新聞社 2015.2<br/>【小中】</p> | <p data-bbox="719 219 1377 398">おいしい“つぶつぶ”とは、穀物のこと。コメ、ムギ、トウモロコシなどのつぶつぶが、どんな形をしているのか、どんな食べ物になるのかなどを、詳細なイラストで説明しています。穀物の代表はお米だけど、シリアル、麦茶、パン菓子なども穀物からできていること、お米にも黒米、赤米など色々な種類があること、麺（めん）になるつぶつぶや、油のつぶつぶについても書かれています。</p> <p data-bbox="1145 427 1377 450">(J616-モリ-1110984590)</p> |
| <p data-bbox="304 483 619 551">『テンプル・グランディン<br/>自閉症と生きる』</p> <p data-bbox="268 589 655 678">サイ・モンゴメリー 著 杉本 詠美 訳<br/>汐文社 2015.2<br/>【小高～YA】</p>   | <p data-bbox="719 477 1377 656">動物愛護活動家として、同時に食肉処理施設の設計者として活躍し、『タイム』誌の「世界で最も影響力をもつ百人」にも選ばれたテンプル・グランディン。食肉として処理される動物の福祉の向上に力を尽くし、動物愛護活動家にも食肉産業にも支持されるテンプル。そして「自閉症はわたしの一部なのです」と語るテンプルの子ども時代と、これまでの道のりを紹介した作品です。</p> <p data-bbox="1145 685 1377 707">(J289-クラ-1111001243)</p>     |